

西瓜產地

子植之藩主ニ獻ゼシヨリ、其名ヲ得タリキ、今ハ近村千塚村羽黒村邊ニテモ多ク植ウ、

〔毛吹草^三〕肥前 水瓜 薩摩 水瓜

〔食物知新^首〕日域諸國名産

果鹹 大西瓜、肥前 琉球西瓜、薩摩 西瓜武州有黒核赤核也

〔江戸砂子^六〕本所

砂村新田 小名木川の南、此所西瓜の名物也、

〔續江戸砂子^一〕江府名産 井近在近國

山西瓜 世田ヶ谷 大丸 北澤 此三ヶ所より出ルを西ノ西瓜と云、上品也、

砂村 龜戸 西袋 鷺沼 馬加 金町 以上を東と云

大森 羽田 此邊より出るを、南の西瓜といふ也、

山西瓜、又東の内砂村西瓜は上品也、白肉うすく中濃紅、子黒色、舌あたりあらく、至つて甘美也、

これをさつまと云、又子白きあり、甚味ひ劣れり、凡西瓜は、寛永年中に初てわたり、薩摩にうゆる、

よつてさつまの種を上品とす、京江戸へ來るは延寶の比也、

〔攝津名所圖會^{武庫郡}〕名産鳴尾西瓜鳴尾村より多く出、上品とす

つめつてはこ、ろのしれぬ西瓜かな

西瓜くふ跡は安達が原なれや

出女でんなの口紅おしむ西瓜かな

西瓜雜載

〔昔々物語〕一むかしは西瓜は、歴々其外小身共に喰ふ事なし、道辻番などにて切賣にするを、下々

中間杯喰ふ計なり、町にて賣ても喰ふ人なし、女杯は勿論なり、寛文の比より小身調て喰ふ、夫々

加賀女 珈涼

其角

支考